

芸術系短期大学における地域連携の取組事例

○長田 和美、中山 愛理、櫻井 建成（山口芸術短期大学）

1. はじめに

「未来投資戦略 2017」（2017年6月閣議決定）にて2025年までに企業から大学等への投資を3倍増（2015年比）とすることが定められ、企業から大学への研究資金額（共同・受託研究・治験等・知的財産権収入額）は増加傾向にある[1]。一方、「未来投資戦略 2017」では、2025年までに文化GDP（国民総生産）を18兆円（総GDP比3%程度）に拡大することが目標として定義された。文化芸術は観光地の魅力やデザインを始め産業の付加価値などを生み出す源と考えられ、経済的な効果が期待されている。しかし、現時点では大学と企業の共同・受託研究の実施件数はライフサイエンス分野が最も多く、芸術分野の連携が多いとは言えない[2]。芸術系大学における地域の産業活性化に向けた活動を促進することを目指し、本研究では芸術系大学における取り組み事例を調査するとともに、地方の芸術系短期大学における活動を紹介する。

2. 芸術系大学の産学連携活動に関する調査

2017年度の大学等の産学連携等実施状況[1]に掲載されている「芸術」「美術」を大学名に含む大学は15校を対象として調査を行った。15校の受託研究は合計263件・約3.2億で、企業からの受託研究は111件（大企業50件、中小企業61件、県内企業61件）であった。共同研究は合計26件・約2000万で、企業との共同研究は22件（大企業15件、中小企業7件、県内企業10件）であった。芸術系大学は、県内企業（地域）との連携が約半数を占めており、全国平均と比較して比率が高いことを確認した。

3. 地方の芸術系短期大学の取組事例

山口県内唯一の芸術系短期大学である山口芸術短期大学では、以下を実施している。

- 1) 地域企業との連携：2017年に山口県下関市の印刷会社「株式会社ナカハラプリンテックス」と包括連携協定を締結し、企業デザイナーによる学生向け講義、学生がデザインした年賀状の販売等を行った。
- 2) 基礎デザイン課外ゼミの開講：地域のデザイン人材の育成を目的に、「デザインスタジオみらい」を学内に設置し、一般向けの基礎デザインゼミ等を定期的で開催している。



図1. 印刷会社との連携事例



図2. 基礎デザイン課外ゼミ

【謝辞】

ご協力いただいた株式会社ナカハラプリンテックス 花本氏、松田氏に深く感謝致します。

【参考文献】

- 1) 文部科学省、「平成28年度大学等における産学連携等実施状況について」、2018
- 2) 文部科学省、「平成25年度大学等における産学連携等実施状況について」、2014